

# 「上越市における都市内分権及び住民自治に関する調査研究報告書」の概要

【検討の視点】

合併前上越市への地域自治区・地域協議会の導入可能性を  
検討するにあたり、現状と課題、制度の意義を検証

## 1 住民自治の充実に向けた地域自治区の再設計

(再設計のベースとなる考え方)

### ■コミュニティと統治性について 報告書 P3

- ・旧 13 町村はコミュニティとしての性格を持っている一方、町村という地域的統治団体としての記憶が残っている。その「統治性の記憶」は、住民が世代交代を繰り返す中で、やがて薄れていくことが想定されるが、コミュニティの持つ自主的な運営という統治性は、いっそう重視していく必要がある。
- ・合併前の上越市は、現在は旧 13 町村のような「統治性の記憶」はないものの、コミュニティの統治性を重視するという将来的な方向は一緒である。合併前の上越市に地域自治区を導入するにあたっては、コミュニティに着目してどのように地域を作るか、を検討していくことが前提となる。

### ■地域協議会のあり方について

- ◇地域協議会委員選任に当たっての「準公選制」の意義 P4-5
  - ・上越市の地域協議会は、委員選任において「準公選制」を採用したことで、住民代表性を有しており、その決定は「ゆるやかな拘束力」を持つ。こうした地域協議会の機能を維持し、高めていくためには「準公選制」を維持する必要がある。
- ◇地域協議会の拘束力の相手先について P6-7
  - ・地域協議会の「ゆるやかな拘束力」の相手方は、住民ではなく、総合事務所や市役所の関係部課に対して「強い努力義務を課す」ことである。
  - ・地域協議会の決定については、区の住民もある種権威あるものとして認めていく機運を醸成していくことが重要である。
- ◇地域協議会委員の選任方法等について P7-9
  - ・委員の選任にあたって「準公選制」及び委員報酬を「無報酬」としたことは、住民自治の充実に向けた上越市方式の生命線である。
  - ・「準公選制」の趣旨を最重要視するのであれば、現状では公募段階で定員割れが起きた場合に市長が補充選任をしていることについて、今後その是非を検討していく必要がある。

### ■総合事務所のあり方について

- ◇地域自治区の「準団体性」の考え方について P10-11
  - ・地域自治区が事務所と地域協議会という「固有の機関」を持つとともに、上越市では地域協議会の決定が行政組織内部に対して「ゆるやかな拘束力」を有していること等から、上越市の地域自治区は「準団体」的な性格を有している。
- ◇地域自治区への事務分掌について P12-13
  - ・地域自治区の事務には、「市長の権限に属する事務から分掌された事務」のほか、地域が固有に持ち、地域が主体的に取り組む「地域的公共事務」がある。住民自治の充実の視点から、後者についても地域協議会及び総合事務所が関与していくことが望ましい。
- ◇総合事務所長のあり方について P14-16
  - ・事務所長に求められる役割と視点：総合事務所長には、「分掌事務」では執行責任者としての、「地域的公共事務」ではタウンマネージャーとしての役割が求められる。
  - ・事務所長の任用について：リーダーシップを有する人材を獲得するため、今後、「一般職の任期付職員」としての採用や、庁内公募による採用等、広く人材を登用することも考えられる。

(地域自治区における車の回転)

### ■地域自治区における住民組織との関係性について

- ◇「協働の要」となり得るための要件について P17-20
  - ・上越市では、制度的に「地域協議会」は意思決定に、「住民組織」、「町内会（町内会長連絡協議会）」は実行に重きを置いた構成となっている。
  - ・これら 3 つの組織の中で「地域協議会」が果たすべき役割は、「地域の課題を捉えて、それをどのように解決したらよいかを市長に提言すること」であり、それを積み重ねていくことで市民が自発的に取り組む機運の醸成につながっていく。



合併前上越市における地域自治区等の導入手法を検討

## 2 全市的な都市内分権の展開方策

### ■「合併前の上越市の区域」における都市内分権のあり方について P21-24

- ・住民自治の充実等の観点から、合併前の上越市の区域においても地域自治区・地域協議会を導入する必要がある。
- ・当該区域における今後の選択肢としては、「地域自治区を導入し、地方自治法の一般制度に移行する」こと、または「地域自治区を導入せず、地域協議会のみを設置する」ことが考えられる。

### ■「合併前の上越市の区域」における区割りのあり方 P25-28

- ・地域協議会・地域自治区を実質的に機能させていくためには、「区割り」が最も重要な要素となる。地域の歴史文化、既存の地区割り、地域間の人口・面積の格差等に配慮しつつ、「統治性」と「コミュニティ形成」の視点を総合的に勘案し、検討を進める必要がある

### ■今後の展開シナリオ P29-31

- ・13 区の「準団体性」との整合性を踏まえると、合併前の上越市の区域においても地域自治区の導入が望ましい。
- ・導入にあたっては、制度の趣旨を踏まえると、コミュニティに着目してどのように地域を作るか、という点を最も重視すべきである。
- ・区割りについては、コミュニティとしての統治制や地域のまとまり等を勘案すると、例えば、周辺部は昭和の大合併前の旧村単位、中央部は市街地の単位とする案が考えられる。